



# 令和5年度(2023年度)中学生チャレンジテスト(3年生) 豊中市の結果概要

令和6年(2024年)1月 豊中市教育委員会

## ●調査の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力を把握することで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育に生かす。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習の到達状況を正しく知ることにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 大阪府教育委員会は、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。

## ●調査の対象学年

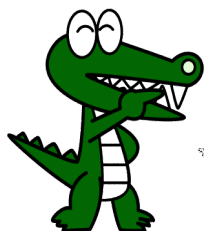
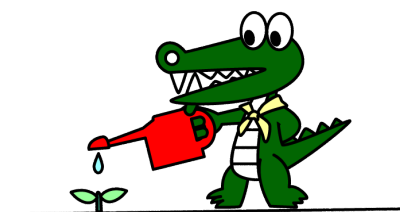
- 府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部、府立中学校及び支援学校中学部の第3学年の生徒

## ●実施日

- 令和5年(2023年)9月5日(火)  
調査を実施した生徒数：豊中市 2,988人 大阪府 58,451人

## ●調査の内容

- 国語、社会、数学、理科、英語、生徒に対するアンケート
- 出題形式：選択式、短答式、記述式
- 調査時間：1教科あたり45分



## 生徒のみなさんへ

生徒のみなさんには、自分の結果について書かれたプリントが配られていますので、この結果概要とあわせて見てください。

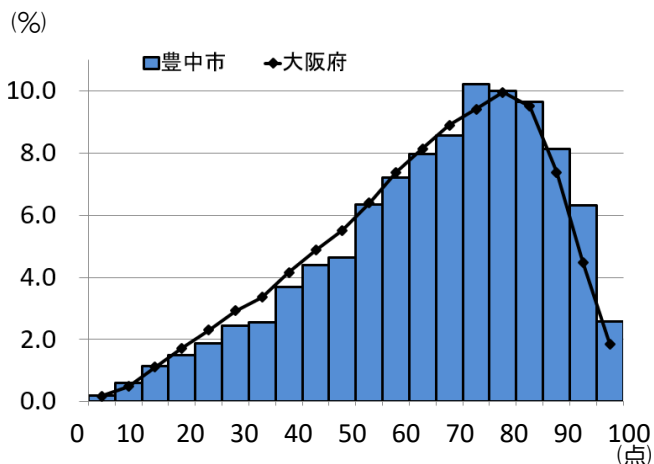
この調査は、学習のゴールではなくスタートです。自分自身の学校・家庭での学習を振り返り、目標を持って、これからの学習計画を立てて取り組んでください。

※この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

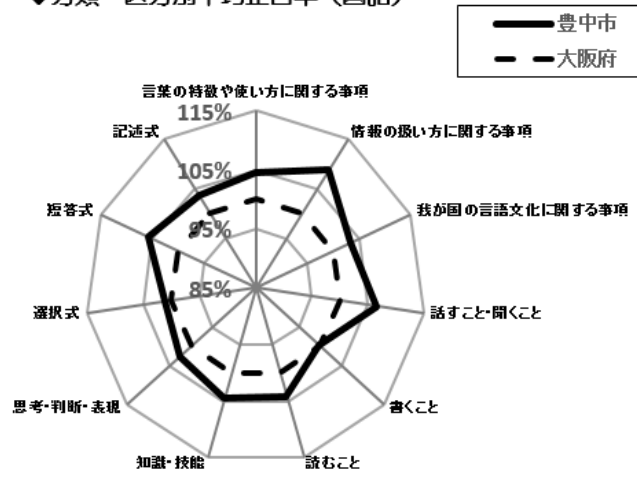
## 第3学年 国語

※大阪府の平均正答率を100%としています。

◆正答数分布グラフ



◆分類・区別別平均正答率 (国語)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

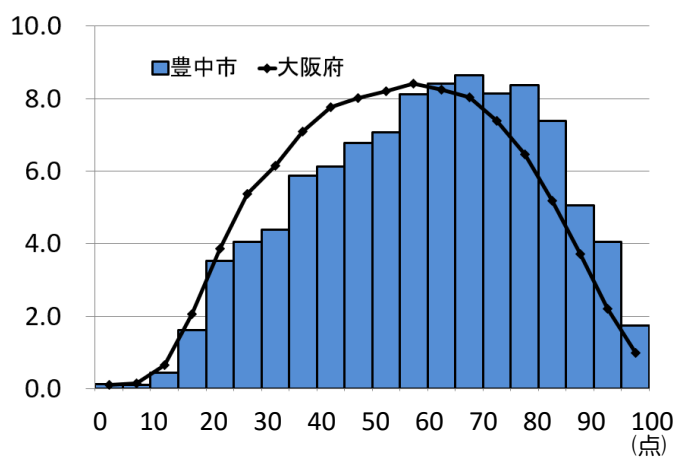
- 文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することについては概ね良好です。
- 手紙の結語や後付けについての理解に課題があります。
- 資料を活用し、根拠を明確にして話すことについて課題があります。



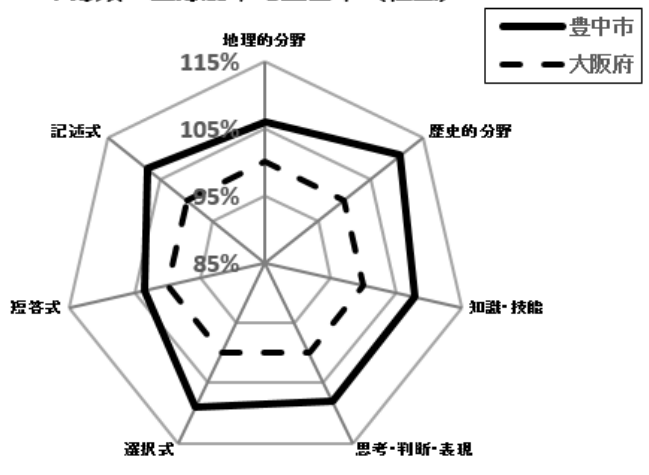
## 第3学年 社会

※大阪府の平均正答率を100%としています。

◆正答数分布グラフ



◆分類・区別別平均正答率 (社会)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

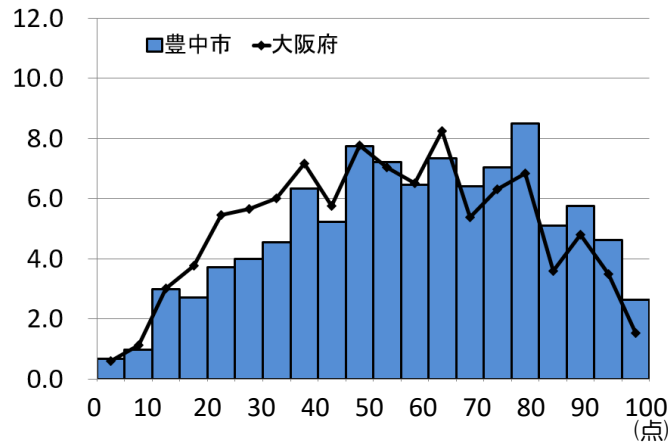
- 地理的分野における地図の縮尺の活用や地形図からの情報の読み取りについては概ね良好です。
- 地理的分野において、図や表から正確に情報を読み取り、特色について考察することについて課題があります。
- 歴史的分野における時代のできごとの推移や政策の正しい理解について課題があります。



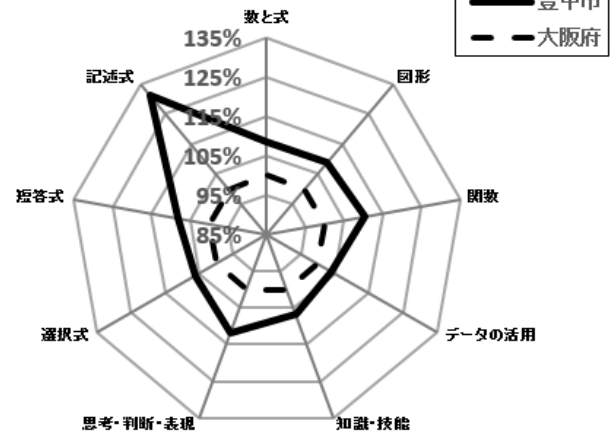
# 第3学年 数学

※大阪府の平均正答率を100%としています。

◆正答数分布グラフ



◆分類・区分別平均正答率 (数学)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

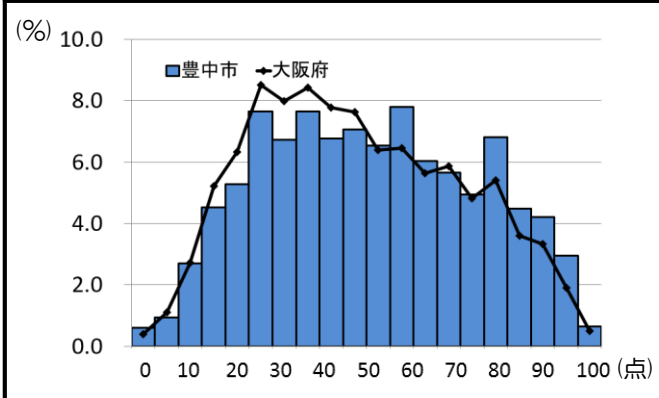
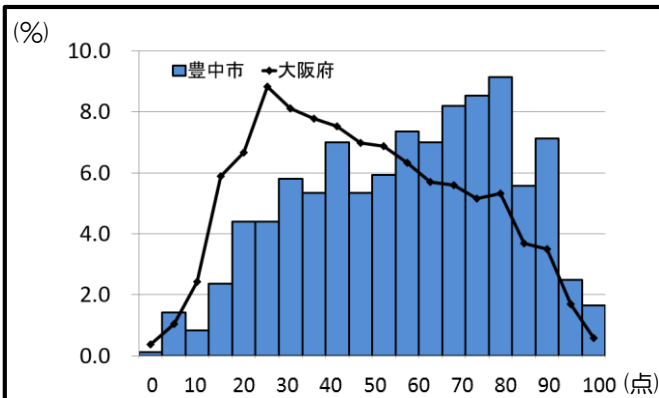
- 図形についての基礎的な知識・技能については概ね良好です。
- 連立二元一次方程式を解くことは概ね良好ですが、着目する数量から連立二元一次方程式をつくることについて課題があります。
- 事象を数学的に解釈して表したグラフから必要な情報を適切に選択し読み取ることについて課題があります。



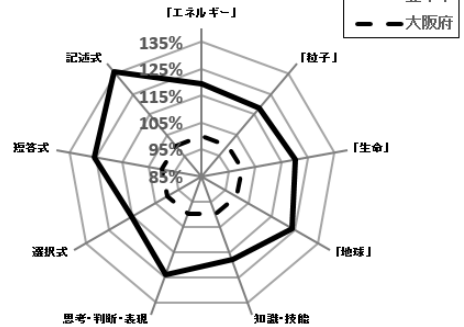
# 第3学年 理科

◆正答数分布グラフ

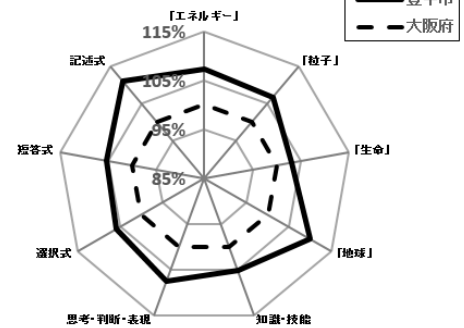
※大阪府の平均正答率を100%としています。



◆分類・区分別平均正答率 (理科B)



◆分類・区分別平均正答率 (理科C)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

- 自然の事物・現象についての基礎的な知識や実験の方法等の技能については概ね良好です。
- 習得した知識を活用して、観察や実験の結果を分析し解釈することに課題があります。



B

※学校選択問題

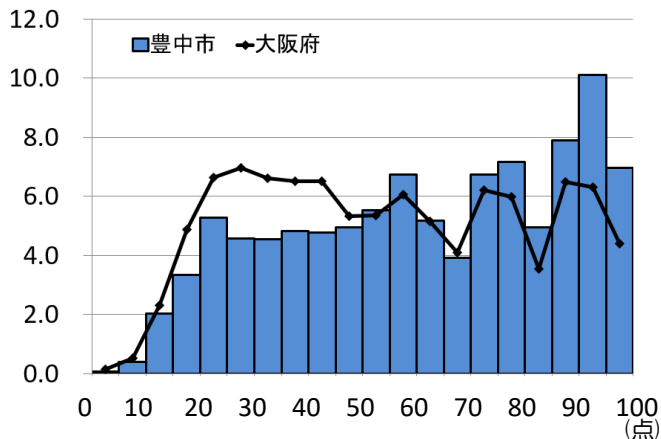
C

※学校選択問題

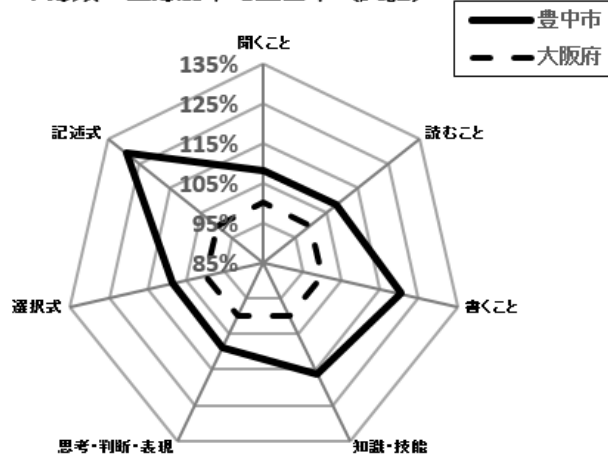
# 第3学年 英語

※大阪府の平均正答率を100%としています。

◆正答数分布グラフ



◆分類・区分別平均正答率 (英語)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

- 短いやりとりを聞いて話し手の意向を正確に理解し、適切な応答をすることについては概ね良好です。
- 与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英語を書くことに課題があります。
- コミュニケーションの場面を理解したうえで、文法や語彙の知識を活用し、場面に応じた英文を書くことに課題があります。



# 第3学年 生徒アンケート

※肯定的回答の割合

質問項目	第3学年		対府
	大阪府 (%)	豊中市 (%)	
文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。	82.7	82.0	↘
わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。	74.7	77.8	↗
授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。	61.9	60.5	↘
授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。	32.6	22.1	↘
家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。	66.7	75.0	↗
あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。	83.9	83.1	↘
学校などで、他の人と協力し合うことができる。	91.5	91.3	↘
難しいことがあっても、あきらめない。	75.3	78.0	↗
テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。	65.6	66.8	↗
普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。（1時間以上読んでいると回答した割合）	14.6	17.6	↗
普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。（2時間以上使用していると回答した割合）	53.3	45.7	↘

- 学習する際、多くの生徒が文章や資料の大事なところを考えながら読んだり、わからないことを図書館やインターネット等を利用して調べていることがわかります。また、家でも自分の苦手なところを考えながら勉強しています。
- 学校や学級で、多くの生徒が友達の違った考えや意見を受け入れたり、協力し合ったりしていることがわかります。

